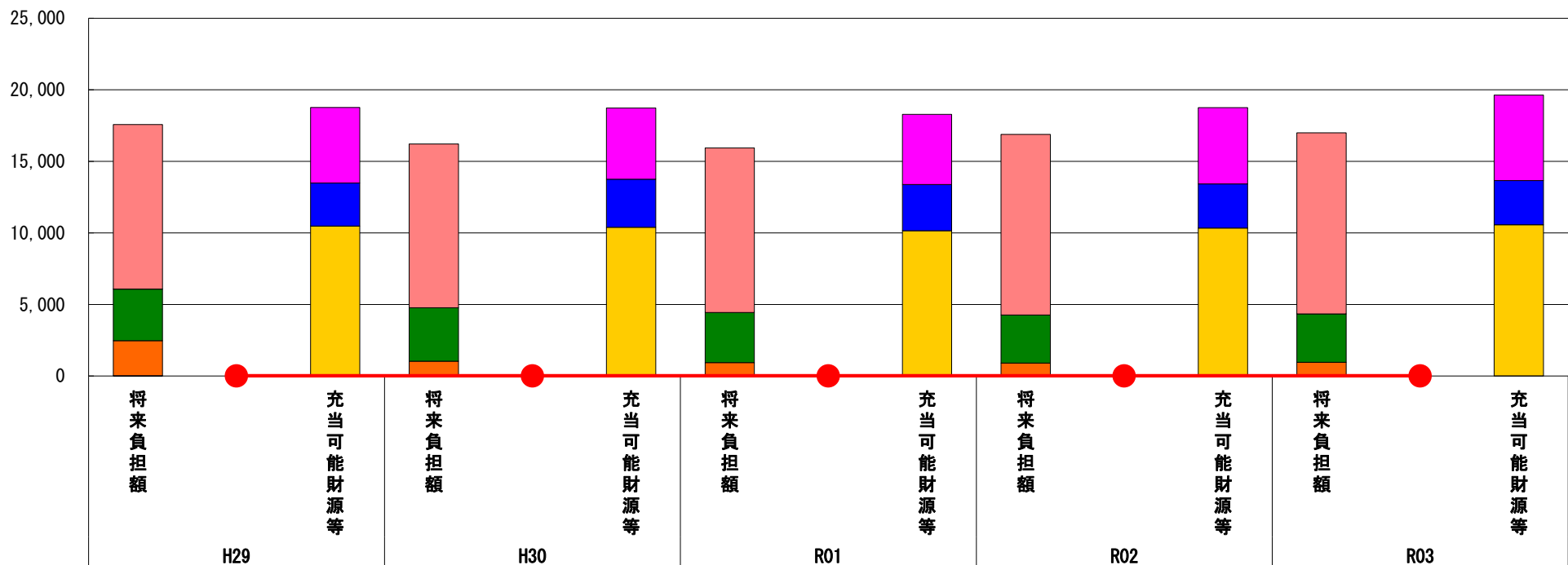


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

大阪府島本町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		11,493	11,447	11,501	12,613	12,657
	債務負担行為に基づく支出予定額		4	0	0	-	-
	公営企業債等繰入見込額		3,601	3,731	3,502	3,364	3,378
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		2,460	1,025	925	887	957
	設立法人等の負債額等負担見込額		13	14	13	14	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		5,271	4,979	4,898	5,324	5,984
	充当可能特定歳入		3,009	3,359	3,233	3,090	3,081
	基準財政需要額算入見込額		10,482	10,390	10,152	10,338	10,570
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 1,192	▲ 2,511	▲ 2,341	▲ 1,873	▲ 2,643

分析欄

令和3年度は、職員数の増により退職手当負担見込額が増加したものの、基金残高及び基準財政需要額の算入見込額が増加したことなどから、将来負担比率が8.6ポイント改善した。

今後も利率の状況を勘案し、基金の取り崩しと起債の抑制のバランスを見極めつつ、公債費負担の軽減に努める。

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。